

## 『日蓮学』創刊に寄せて

浜 島 典 彦

現在、全国に私立大学が六〇四校存在する。このうち約四割が定員割れ、大都市圏外となると、その数字は六割となる。過度の一極集中を防ぐため、文科省は明年度から都内にある大規模私立大学の入学者定員を一・一倍以下に抑えることを通達し、定員増を認めないこととした。

十八歳人口の推移についてみると、明年度は今年度より著しく減少し、二〇一八年度に一一七万人、二〇三一年度には遂に一〇〇万人を割り込むといわれている。この数字は宗門子弟にもあてはまる。この事態に、山間部に位置する身延山大学はどう生き残っていけばいいのか。

その対応策として、大学の内部をスリム化し、仏教に特化した大学として世に打って出るということ以外に術がないといえよう。そこで身延山大学は、今年度から一学部（仏教学部）一学科三専攻制（日蓮学・仏教芸術・福祉学）とし、学生に質の高い教育内容を提供し、社会に貢献するための協働教育を目標として掲げた。謂わば、実社会に役立つ人材を輩出する大学としての位置づけである。

また、大学は研究機関を有した文化発信基地でなければならないし、進化し続けなければならない。その意味からも更なるグローバル化を見据え、「立正安国」「二天四海 皆帰妙法」の祖願を達成する意味からも、身延山大学の唯一の研究機関である「東洋文化研究所」を「国際日蓮学研究所」と名称変更、併せて改組した。

ハーバード大学世界宗教研究センター所長、神学者であった故ドナルド・スウェアラー博士は嘗て『立正安国論』奏進七五〇年記念事業の一環として日蓮宗京都本山立本寺で基調講演し、

ハーバードには様々な研究機関、学部が存在するが、それらの部署に基本理念を教示するのは、わが組織である。宗教的理念を発しなければハーバード大学におけるセンターとしての存在意義がない。例えば、二〇〇八年九月に起こった「リーマンショック」を神の啓示と受け止めなければならないと、経済学関係者に助言した。

と述べ、更に

仏教、別けても法華経には「少欲知足」という人類のための、人類を救う理念がある。是非、この素晴らしき理念を世界に発信して戴きたい。

と結んだ。

地球温暖化等グローバルな問題にも物申す、日蓮学の観点から理念を世界に発信するのが、国際日蓮学研究所の役割であり、その成果を掲載するのが創刊された「日蓮学」であろう。期待するところ大である。